企業・団体名（　株式会社　中部テクノ通信　）

（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	厚生労働省より出ている指針を活用して社員に周知。 【予定】従業員が相談しやすいような環境をつくる。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	先輩・後輩の年功序列を基本排除。従業員の役職を一律にし先輩からの圧力がかからない体制を作りを行なっている。現場でのミスによるパワハラが起きないよう常にコミュニケーションを図る。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	一人一人の労働時間がわかるよう日報を見える化し常に監視。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社員を雇用するに至っていないが、外注に外国人労働者がおり引き続き外注雇用の継続を行なっていく。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	現場では毎朝安全ミーティングを行い事故防止に努めている。取引先より配布される労働安全に関する資料の内容に基づき社員教育を徹底している。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	厚生労働省監修の指針を活用し従業員同士が相談しあえる環境を作る。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	【予定】女性が現場作業に従事する為の改革と組織作りを実施する。又経営方針の改善を行い多様な人材が活躍できるよう準備中。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	研修会・資格取得にかかる費用等のバックアップ体制を整えている。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	男女問わず現場に出向く体制としている。 【予定】賃金格差は多少あるが今後、全て正規雇用とし同一賃金化を目指していく。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	健康診断の年１回の受診、事務所や社用車内での禁煙を徹底している。			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	現場で発生するゴミはその現場に従った分別方法で処理を行っている。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	熱源となるエアコンのリモコンには使用量モニターがあり、そこから現状の把握を行っている。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	【予定】事務所内の照明をすべてLED化。 防寒対策を施し、省エネ対策を強化している。 現場でのアイドリング禁止を遵守。 事務所は再生可能なプレハブを使用。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	ガス規制対応の車両を導入及び、現状使用の実施。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	リサイクルペーパーやリサイクルタオルの使用の推奨。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	工事の際に出た配線等を被覆と銅線で分け処理をしている。 現場で使用する工具は、中古品を修理しリユースをしている。												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】社内全体で利用効率の改善に向けて、節水の呼びかけを見える化する。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】取組情報を開示できるように現在HP内を構成中。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】再生エネルギーの利用について、社内で検討中。							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	新品の建設工具等の使用を抑え再生品や中古品の利用を推奨している。 【予定】天然資源の使用、農作物や食品などのロスを削減への取り組みを実施。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	発注にあたる企業さんとの少人数接待の禁止。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	見積価格を標準化し、低価格見積の禁止・防止を行ている。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	外部が制作した図面や見積もりを第三者が見えないようクラウド内にてパスワード管理。 紙ベースの図面等もデーターベース化を行いパスワード管理を行う。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	取引先の情報などはクラウドにてまとめて管理。 個人情報保護法に関わるモノは、お客様から一筆を貰いカギの掛かる保管場所にて管理。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	取り扱いなし																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	取引先や事業パートナー等との情報共有を密に行い、人権侵害の防止や生物多様性など環境への配慮、ハラスメント等の認識の共有している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	インフラ設備の稼働において、お客様の生命、身体または財産に被害を与えることのないよう万全を期している。万が一、被害を発生させた場合には、迅速かつ適切な救済を行い、再発防止に努めている。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	各製品における製品規格の測定実施を強化。 電気用品取締法に沿った製品の点検・確認の実施。 使用する機械の校正の実施。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	省エネ提案を行っている。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	現場や敷地内で不要のアイドリングを禁止し二酸化炭素排出や騒音を抑制させる。 従業員全員、ゴミ拾い等の美化活動に積極的に参加。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	お祭りや地域の町会費を寄付する。又、福祉施設活動（リユース）に取り組んでいる所への製品の提供を実施。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	【予定】食品ロスを削減できるよう、地域の生産者とタックを組み地産地消を目指す取組を行う。								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	【予定】将来的ビジョンを定め経営理念の見える化や社内共有の場を設ける。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	【予定】社内報で適時法令順守の確認を定期的に行い、掲示板からも発信を行っていく。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	部署ごとで、社会・環境に及ぼす可能性がある行動を確認しあい、報告会を開催し社内共有の場を設ける。																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	【予定】自社活動を社会全体に認知してもらえるよう、HPを作成し発信していく。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	ＰＤＣＡサイクルを用いての分析を行う。自然災害や事故、サイバーテロ、重度感染症の流行などに対応出来る用BCP（事業継続計画）対策を検討する。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	（1）経済面（経済的業績、内部留保、利益配分のあり方）（2）環境面（環境経営、環境に配慮した仕事の開発）、（3）社会面（人権問題、地域社会との共生、工事の安全性、従業員の福利厚生他）に配慮する会社作りを行う。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	常に、緊急連絡体制を社員全員に周知しており、事故や災害時に連絡を取り合える体制を整えている。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	【予定】地域の方に愛される企業となれるよう、後継者への技術指導や経営方針の見直し、時代の流れに乗り遅れない社内体制の構築を行なっていく。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）